

IEI

# 東野便り

HIGASHINO DAYORI

03

学校法人 盈進学園 東野高等学校  
総務部

## 7月3日 創立記念日に寄せて

東野高等学校 校長 北村 陽子

謹啓

初夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、7月3日は東野高等学校にとって37回目の創立記念日になります。1984年7月3日は、埼玉県私学審議会を設置承認の答申が出た日です。学校にとって創立記念日は誕生日です。今まで歴史をつくっていただいた多くの方々に感謝し、伝統を守り発展させることを、改めて決意する日であると考えたいと思います。

東野高等学校新設にあたっては下記のようなあいさつ文が出されたようです。

今、私たちは、新天地を求めて、ここ入間の地に学校をひらく。秩父の山々から広大にひろがる関東平野の一角である。

校名は、遠く万葉にみる床しの「東野」、東国の武蔵野の謂である。

この地に私たちは高らかに「人間教育」の旗を揚げる。

個性伸長の人間教育 - これがわが学園の基本原理である。

自分の個性を生かすことは、人間の基本的権利である。

「自主・自律・創造・発展・生徒一人ひとりの持てる力を最大限に発揮すること」

これが個性伸長の神髄である。

二十一世紀を展望した 視野広く斬新な教育 十代青春の かけがえない個性の伸長

個人の尊厳を重んじ 真理と平和を希求する人間教育。

心ある方々の馳せ参じられんことを、心からお願い申し上げます。

97年前の盈進学園創立の意志を受け継ぎ、それまでの東京都武蔵野市から入間市に地を変え、新生東野高校を開校、37年が経ちました。今も変わらぬ建学の精神「知識は第一の宝・品行は最高の美・忍耐は無上の力」・創立者の理念である「人間教育」と「個性の尊重」を教育実践の根本に据え、応えていく学校を目指しています。

昨今、教育関連の国際会議では、アクティブ・ラーニング（主体的学び）、ディープ・ラーニング（深い学び）といった教育法をあらわすこれらの言葉が、各国共通語として使用されており、新しい教育の動きは世界各国で同じ方向に向かおうとしているようです。我が国では、最近この二語を組み合わせたディープ・アクティブ・ラーニング（学習の質や内容の深さに焦点を当てる教育法）という言葉も耳にするようになりました。また、2022年度より高等学校では「主体的・対話的で深い学び」の実現を提唱している新学習指導要領が全面導入されます。これからの多様な価値観が混在する社会では、常に正解があるとは限らず、むしろ正解のない問題が多く存在するでしょう。テクノロジー分野がいくら発展してもそれを使うのは人間であり、人間が『どのような社会や人生が本当に豊かなのかを自ら考え出す』ことが求められます。人類が直面する課題解決に向けて、世界の人々と知恵を出し合い、日本人にありがちな無意味な忖度ばかり働かせず、明るい議論ができるようになってほしいと願っています。

皆様には、これまでも増して東野高等学校発展のためにお力添えいただけますようお願い申し上げます。

謹白

学校法人 盈進学園 東野高等学校

〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1  
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665

EISHIN GAKUEN SCHOOL FOUNDATION HIGASHINO HIGH SCHOOL

112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN  
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665